

サーバーをご利用のお客様へ

サーバー移転時に発生するプロバケーションについて ご理解とご了承のお願い

独自ドメインやレンタルサーバをご利用いただく場合で、次のようなケースに必ずプロバケーションという状態の影響がございます。これは、インターネットの特性上必ず発生するもので、お客様にはご理解とご了承いただくようお願い申し上げます。

プロバケーションの影響がある場合

同じドメイン名で

- 契約サーバー会社を乗り換える場合
- 同じサーバー会社で、別のコースに切り替える場合
- サーバースペックアップ時※

※ サーバー会社(弊社提供含む)の都合で、サーバースペックアップする事がございます。通常のパソコン同様、サーバーも一定周期でハードウェアを一新したり、OS を含むソフトウェアをアップグレードする必要性がございます。これは、セキュリティ維持の目的とサービス提供維持の為に必要な対策ですので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

プロバケーションの影響が無い場合

- 新規ドメイン名で、サーバー運用を開始する場合

サーバー移転時に発生する不安定な状態
プロバケーションとは

● ドメインと IP アドレス

サーバーには IP アドレスという固有の識別番号が存在します。この識別番号は、インターネット上の住所のようなもので、この IP アドレスで目的のサーバーがどこにあるのか?という事を判別する事で、PC~サーバ間の通信が出来るようになっていきます。皆さんがいつも使っているドメインネームは、この IP アドレスを人間が覚えやすいようにしたもので、ドメインは必ず DNS というシステム上で IP アドレスへ変換されて目的の場所を探す事になります。

つまり、サーバー移転時の DNS 移転とはこのドメイン名に対する IP アドレスが変更される事を言います。

● ドメインの情報変更直後の状態

DNS は分散型データベースです。ドメインとそのドメインに対する IP アドレスの情報は、一つのサーバーで管理している訳では無く、インターネット上に存在する無数の DNS サーバが役割を分担して情報提供を行っています。

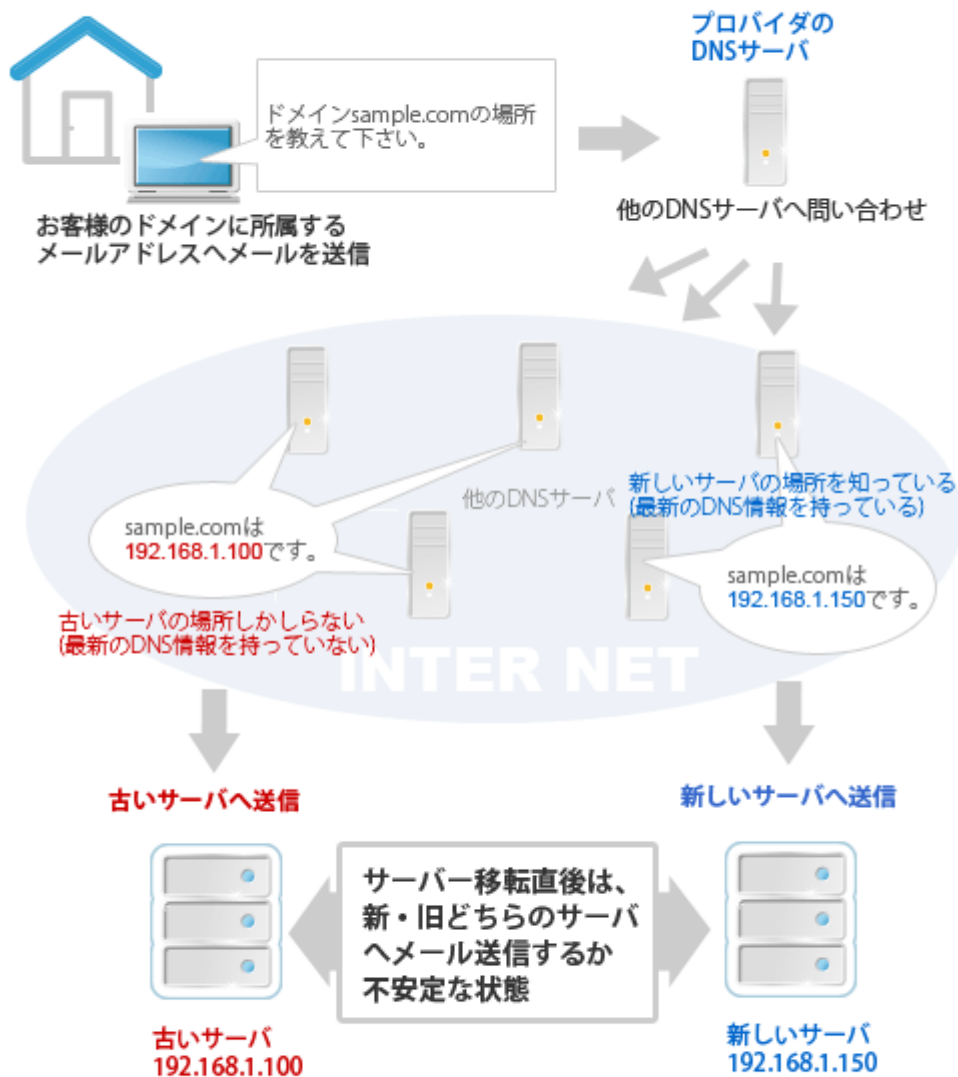
この為、ドメインの情報を変更した直後は新しいサーバーの場所を知っている DNS と古いサーバーの場所しか知らない DNS が存在する事になります。新しい DNS 情報は、サーバーからサーバーへと伝言ゲームのように伝えられて、不定期に新しい情報へ書き換えられます(DNS 情報の浸透)。

つまり、情報変更の直後は、同じドメインなのに新・旧二つの情報が存在する為、**どちらのサーバーへアクセスされるのか分からない不安定な状態**になります。

サーバー移転直後の状態

お客様のドメイン→sample.com (例)にメール送信する場合
サーバーのIPアドレス例

新しいサーバ: 192.168.1.150
古いサーバ : 192.168.1.100



DNS 情報変更直後から、**3~4日**はこのような不安定な状態が続き、その後徐々に収束(全てのアクセスが、新しいサーバーへ行くようになる)して行きます。